

むささび

第18号

平成25年1月10日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



イオン中野店前バス停に間伐材のPR用待合所を設置しました。



今年度導入したフォワーダ (イワフジU-4BG)

森林組合PR事業を全県で行っています。

SBC ラジオ「モーニングワイドラジオ J」
毎週月曜日、朝8時35分から40分まで
「森と暮らそう」を放送しています。



今後の当組合放送予定 2月11日

主な内容

- 新春ごあいさつ……………2
- 北信州森林組合中期計画…3
- 直営林産班の紹介……………4
- 森林経営計画制度について・5
- 農林高生インターンシップ…6
- 里山整備入門講座実施…7
- 新製品 間伐材キャビン ……8



年頭のごあいさつ



北信州森林組合

代表理事組合長 高森 壽實夫



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様には、ご健勝のうちに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げますとともに、常日頃からの森林組合の事業推進に、格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、林業を取り巻く状況は、依然として厳しく、国では森林・林業再生プランによる10年後の木材自給率50%以上を目途とし、発電利用に供する木質バイオマス活用の推進や、林業における地球温暖化対策の推進、木材需要の拡大等を積極的に進めるとしていました。今後、国や県の予算にどのように反映されるのか、いまだに不透明な部分も数多く残っておりますし、政治の混迷から補助事業制度確立の遅れや、TPP問題、木材流通の不安定など難題も多くありましたが、関係する皆様方のご指導により、若干の不安を抱えながらも見通しなり方向性が出て参りましたことは、喜ばしいことだと思っております。

また、当森林組合におきましても、年度当初は大震災による復興事業がある程度進み、景気も良くなるだろうと考えていましたが、その後の復興事業の遅れや更なる景気の低迷から、スギ丸太価格を中心にした木材価格が大幅に落ち込み、この影響がどの程度響いてくるのかを懸念しておりましたが、受託事業の精算では還元額が若干少なくなることはありましたが、出来高では、ほぼ順調に推移することができました。このことにつきましても、厚く御礼申し上げます。

今年も昨年に引き続き、地域の森林の恩恵を、皆様にできるだけ受けていただく事ができますよう、更なる生産コストの削減や、作業路等の路網整備、森林経営計画樹立による境界明確化と集約化施策を進めるとともに、高性能林業機械等の基盤整備を充実させ、北信州の森林を緑豊かな森林とするため、更なる組合事業の発展に邁進して参りたいと思っておりますので、組合員の皆様にも、更なるご協力をお願いいたします。また、野沢温泉村にあります物産センター「ねんりん」につきましては、去年は村のご支援によりまして農林産物直売所を設置していただきました。今年は2年目となりますので、この運営を軌道に乗せるべく、経営の向上と組合員の所得向上に資して参りたいと思っております。

いずれにいたしましても、今年度も集約化施策のための基本となる、長期施策委託契約等を更に推進し、地域の森林整備を適切に進め、地域の発展に貢献していくこととしておりますので、組合員の皆様にも、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



北信州森林組合中期計画

—平成32年度末国産材自給率50%以上に向けた当組合の取組—

森林・林業基本計画(平成23年7月)より抜粋

第2表 木材供給量の目標

(単位:百万㎡)

	(実績) 平成21年	(目標) 平成27年	(目標) 平成32年	(参考) 平成42年
木材供給量	18	28	39	50

第3表 用途別の利用量の目標

(単位:百万㎡)

	利用量			総需要量		
	(実績) 平成21年	(目標) 平成27年	(目標) 平成32年	(実績) 平成21年	(見通し) 平成27年	(見通し) 平成32年
製材用材	11	14	19	26	27	30
バルブ・チップ用材	5	9	15	29	36	37
合板用材	2	4	5	8	8	9
その他	1	1	1	2	2	2
合計	18	28	39	65	72	78

中期計画 (H24 ~ H28)

管内森林面積

単位: ha	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	管内合計	
総面積	4,363	9,428	18,057	2,404	3,104	37,356	
林種別 内訳	人工林 (A)	2,423	2,924	3,587	1,428	1,333	11,694
	天然林	1,877	6,334	14,030	963	1,744	24,948
	その他	63	170	416	12	28	689

境界明確化計画

単位: ha	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	合計
境界明確化必要面積 *人工林に限定	2,423	2,924	3,587	1,428	1,333	11,964
H17 ~ 23 実績計	288		1,159	260	51	1,758
H24	80	15	225	96	80	496
H25	200	100	400	250	100	1,050
H26	300	100	400	300	100	1,200
H27	300	114	400	272	114	1,200
H28	300	125	400	250	125	1,200
H24 ~ 28 計画計	1,180	454	1,825	1,168	519	5,146
H28 未合計	1,468	454	2,984	1,428	570	6,904

集約化体制及び配置人員

単位: 人	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	管内合計
H23 実績	1		2	2	1	6
H24	2	1	4	2	1	10
H25	2	1	4	2	1	10
H26	3	1	4	3	1	12
H27	3	1	4	3	1	12
H28	3	1	4	3	1	12

* 森林経営計画樹立 100 ~ 125ha/1人、境界明確化 100 ~ 125ha/1人

集約化関連機器導入計画

単位: 台	デジタル 方位距離計	GPS 受信機	森林 GISソフト	携帯端末 (スマホ)
H23 実績	8	3	4	3
H24	8	3	4	3
H25	8	3	12 (8)	12 (9)
H26	8	3	12	16 (4)
H27	10 (2)	6 (3)	12	16
H28	10	3	12	25 (9)

* () は新規導入台数

* 集約化推進にあたり、森林GISの存在が必須となっていることから、森林GISソフトを1人につき1本の保有を希望。長期ライセンス契約による増設を検討。

**保育事業から林産事業への
転換を目指します。**

平成二三年七月に森林・林業基本計画が閣議決定され、平成三二年度末の国産材の供給量目標が示されました。

国内の総需要量七千二百㎡に対し三千九百㎡を供給目標とし、自給率目標は五四%となっております。

長野県でも塩尻市に年間三十万㎡を利用する製材工場兼バイオマス発電施設が計画されており、県下の森林組合には、これに向けた木材の増産が求められています。当組合では搬出間伐を中心に、木材生産を行うための中期計画を理事会で策定し、増産に向けた取組を進めています。

国の定める新制度に対応するため、集約化体制の強化と、事業実施のための、直営林産班及び高性能林業機械の配備を進める計画となっております。

搬出間伐計画

	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	国有林	管内合計
H23 面積: ha	6	0	89	28	0	85	207
実績 (生産量: m ³)	(914)	0	(6,440)	(1,682)	0	(4,569)	(13,605)
H24 面積: ha	20	8	110	50	18	57	263
(生産量: m ³)	(1,100)	(450)	(6,600)	(2,750)	(1,000)	(4,000)	(15,900)
H25 面積: ha	25	15	120	65	25	50	300
(生産量: m ³)	(1,400)	(850)	(7,200)	(3,600)	(1,400)	(3,000)	(17,450)
H26 面積: ha	35	20	130	85	35	50	355
(生産量: m ³)	(1,900)	(1,100)	(7,800)	(4,700)	(1,900)	(3,000)	(20,400)
H27 面積: ha	40	20	120	95	40	50	365
(生産量: m ³)	(2,200)	(1,100)	(7,200)	(5,300)	(2,200)	(3,000)	(21,000)
H28 面積: ha	40	20	100	90	40	50	340
(生産量: m ³)	(2,200)	(1,100)	(6,000)	(4,950)	(2,200)	(2,750)	(19,200)
合計 面積: ha	160	83	580	385	158	257	1,623
(生産量: m ³)	(8,800)	(4,600)	(34,800)	(21,300)	(8,700)	(15,750)	(93,950)

主伐計画

H18 ~ 23 実績合計 面積: ha	-
(生産量: m ³)	(2,680)
H24	0
H25	0
H26	0
H27 面積: ha	20
(生産量: m ³)	(6,000)
H28 面積: ha	40
(生産量: m ³)	(12,000)
合計 面積: ha	60
(生産量: m ³)	(18,000)

* 木材安定供給、森林現況等の条件を勘案し、主伐による積極的な木材生産を進めるとともに、循環型林業の体制構築。
* 循環型林業(皆伐→再造林→保育)の仕組みづくりが検討課題。

搬出間伐労働生産性

単位: m ³ /人日	
H23 実績	5.23
H24	5.30
H25	5.82
H26	5.83
H27	6.00
H28	6.00

林産班体制計画

	協力業者		直管林産班		合計	
H23 実績	3班	12人	3班	12人	6班	24人
H24	2班	8人	4班	16人	6班	24人
H25	2班	8人	4班	16人	6班	24人
H26	2班	8人	5班	20人	7班	28人
H27	2班	8人	5班	20人	7班	28人
H28	2班	8人	5班	20人	7班	28人

高性能林業機械配備計画

単位: 台	スイングアーダ	フロセッサ	フォワーダ	備考
H23 実績	2	3	2	
H24	3 (1)	3	3 (1)	
H25	4 (1)	4 (1)	4 (1)	
H26	5 (1)	5 (1)	5 (1)	
H27	5 (0)	5 (0)	5 (0)	
H28	5 (0)	5 (0)	5 (0)	

**年間生産量二五〇〇〇立米めざす
北信州の木材生産を支える直営林産班**

これまで森林組合の事業は、下刈や切捨間伐といった保育事業が中心でした。当組合でも、合併した後も林産事業については、北信木材生産センター協などの、協力事業体に頼っていました。

平成一六年にスイングヤーダを導入したのを機に、直営林産班の育成を始めました。昨年度から3支所で行っていた林産事業を一か所にまとめ、林産事業を主体に事業展開する林産事業所を設置しました。今年度は新たに一班増設し、4班体制で林産事業を行っております。

今後、中期計画の達成のため、5班体制をめざし技能者の養成をしていくことにしています。目標量の達成のためには、一班あたり年間五〇〇〇立米の生産が必要であり、それを達成するためには、大幅なコストダウンが実現できることとなります。それにより組合員への還元を、より多くすることを目指しています。



スイングヤーダによる集材作業



プロセッサによる枝払い・造材作業



太田班

左から太田班長、佐藤、堀米、神戸



松本班

左から松本班長、吉富、畔上、片塩



高井班

左から高井班長、関、嘉部、山田



萬場班

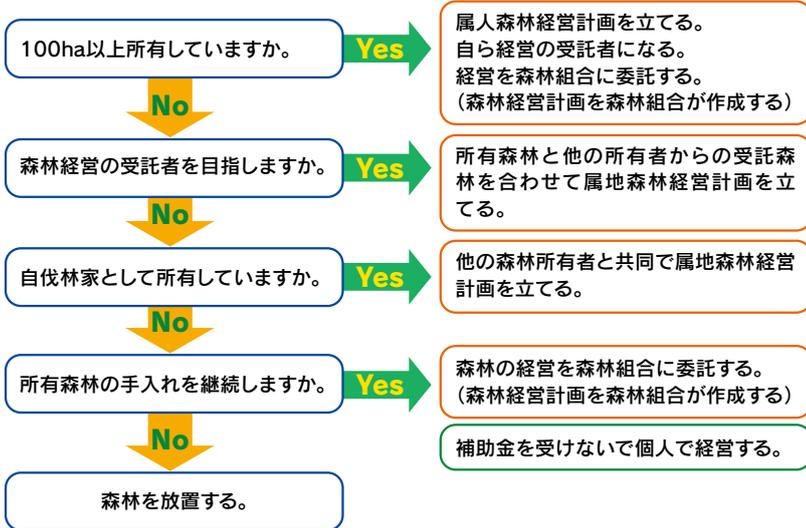
左から辻村、萬場班長、山城、河野

森林経営計画制度にご理解を！

補助制度が大幅に変更になりました。単に森林を所有するだけでは公的支援は受けられません。

一般的森林所有者の立場

国の新制度では、自ら森林の経営を行うために所有者を集約するか、経営を森林組合等に委託するかの選択を求められています。



森林経営計画に入ると次のような優遇があります。

- ① バイオマス発電の売電価格 32 円 / kw
(経営計画以外の木材では 24 円 / kw) } **木材買取価格 UP**
- ② 山林所得の特別控除 (立木販売額の 20%)
- ③ 相続税の計算特例 (課税価格 5% 減額)
- ④ 土地特別保有税非課税

森林経営計画は森林と所有者と地域を活かすためのものです。

戦後植林した森林が成林となり、本来であれば木材を収穫し、再造林を行わなければならない時期となっています。しかし、木材価格が低下する中で、森林経営は行き詰まり、所有者個人では森林の、継続した手入れをすることが、困難な時代となっています。そんな中で、各地で林地の崩落が発生したり、素材生産業者による無秩序な皆伐が行われ、森林崩壊が問題となっています。

このようなことから、国では森林・林業政策を転換し、森林を所有する者の責任を明確にした法改正を行いました。その中で、森林所有者が直接向き合わなければならないのが、森林経営計画です。個々で森林経営を継続するか、森林組合等に委託するか、放置するかを問うような制度となっています。これに対応するため、組合では各地で説明会を行っています。ご理解いただけぬ点もあるかと思いますが、組合員が新しい制度から漏れて、不利益を被らないために必要な事ですので、ご協力をお願いいたします。

森林・林業基本計画のための周辺整備

◇意欲的に経営する者への優遇措置と、森林を所有する責任を明確にした法制度◇

無秩序な伐採、造林未済地の防止強化
一般の森林所有者に対する措置
災害の発生や環境保全上の支障等のおそれがあると認められるとき、無届伐採を行った者に対する伐採の中止や造林についての命令を新設
平成 24 年 4 月 1 日施行済

森林の土地所有者の届出義務の新設
一般の森林所有者に対する措置
新たに林地を取得した場合には、市町村長に届出(ただし、国土利用計画法に基づく届出を行った場合は不用) ※相続でも届出必要
平成 24 年 4 月 1 日施行済

全国森林計画
森林・林業政策のビジョン、森林の整備・保全の実現のためのルール・ガイドラインを分かり易く提示
平成 23 年 7 月 26 日閣議決定

早急に間伐を実施するための制度の充実
要間伐森林所有者等に対する措置
・要間伐森林である旨の通知を新設 ・所有者が必要な間伐等を行わない場合の施業代行を行いやすくする仕組みを構築(所有者が不確かな場合への対応も含めた措置)
平成 24 年 4 月 1 日施行済

森林所有者情報の共有の推進
行政機関における措置
都道府県、市町村において ①土地売買等の届出、不動産登記簿等の情報の内部利用 ②登記所等の行政機関の保有する情報の提供の依頼が可能
平成 23 年 4 月 22 日施行済

地域森林計画
・森林施業の基本的な方法を明示(皆伐や更新に関する基準・指針を設定) ・記載内容の簡素化
平成 23 年 12 月 31 日までに策定・変更済

施業に必要な土地権利設定手続の改善
一般の森林所有者に対する措置
路網等のために、所有者等が不明な場合でも、他人の土地について使用権を設定できるよう、手続きの見直し
平成 23 年 7 月 1 日施行済

計画作成者を対象とする直接支払の導入
認定者等に対する措置
集約化に向けた努力やコスト縮減意欲を引き出しつつ必要な経費を直接支払う森林管理・環境保全直接支払制度を創設
平成 23 年 4 月導入済

市町村森林整備計画のマスタープラン化
市町村森林整備計画
・新たなゾーニングの導入 ・皆伐や更新基準及びその適用範囲を明示 ・路網計画・図面計画法 ・森林経営計画の認定基準
平成 24 年 3 月 31 日までに策定・変更済

森林経営計画の創設
森林経営計画
森林所有者又は森林経営の受託者が、面的まとまりをもって、作業路網に関する事項も含めた計画を作成するとともに施業の実施基準を見直し
平成 24 年 4 月 1 日から作成(平成 25 年 4 月から本格実施)

※図表は平成 24 年度全国林業普及研修大会 後藤國利氏特別講演資料より出典

下高井農林高校生のインターンシップ開催

—— 高性能林業機械研修とチェーンソーアートによる林業技能体験 ——

未来の林業技能者誕生へ期待！

十月一日に、下高井農林高校生のインターンシップ（就業体験）として、木島平村国有林内の素材生産現場において、高性能林業機械の操作実技研修を行いました。

現地の、集材作業ではスイングヤードを操作、枝払い造材作業ではプロセッサの操作、積込運搬作業ではフォワーダの操作を研修しました。下高井農林高校では、チェーンソー作業特別教育から重機操作のための車両系建設機械技能講習、小型移動式クレーン技能講習などの資格を生徒が取得しており、高性能林業機械の操作にも、戸惑うことなく受講していました。

特に、今年技能職員に採用した、萬場班の河野利典君（平成二十三年三月卒）は、二年前にこの研修を受講しており、受講者全員が先輩の指導を真剣に受けていました。

今回の受講生の中からも、将来の林業技能者が誕生することを期待しております。



チェーンソーアートを学ぶ

九月十日、野沢温泉村の物産センター「ねりん」において、下高井農林高校生にチェーンソーアート講習会を開催しました。チェーンソーアートのプロの伴正史氏と饗場良夫氏を講師に行いました。

これはチェーンソーの操作技術を学ぶためのものです。初めは恐々と操作していましたが、午後になると、参加した生徒全員が、思い通りの操作ができるようになりました。

今年の課題はフクロウでしたが、下の写真の出来栄になりました。作品は学校祭で展示されました。





斑尾山荘に 軽油地下タンクを設置

— 大幅な経費削減に —

斑尾高原のガソリンスタンドが廃業してから、除雪車の燃料給油が課題となっておりました。

十月の理事会で地下タンクの設置が決定され、長野精器㈱で工事を行っていました。飯山消防署の検査も合格し、今シーズンの除雪事業に間に合うことができました。今後は、燃料も大量購入となりますので、燃料価格もこれまでより安価で購入でき、燃料価格が高騰する中、経費削減できると考えています。



豊田中学校前バス停に

間伐材の 屋根付きベンチ設置

中野市替佐の豊田中学校前バス停に待合用の屋根付きベンチを設置しました。これは替佐区にご購入いただいたもので、老朽化した鋼製の待合所の後継として設置したものです。

大きさは、高さ2m、幅1.8m、奥行1.8mで、4人ほどが座れるベンチです。

今回は、基礎工事込みで十万五千円で販売しました。(基礎工事内容で変動あり)

他地区でもご希望がありましたら、森林組合本所までご相談ください。

里山整備入門講座を実施

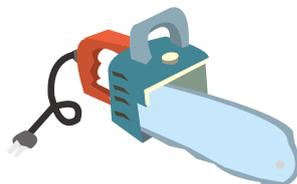
…… 森林所有者の自伐林業の入門に……

所有者自らが森林整備をできるように 林業の基礎から伐採実技までを学ぶ

九月二十七日から十月二十七日まで六回にわたり里山整備入門講座を実施しました。管内から応募のあった十一名が参加し組合施設を利用して行いました。

森林管理の基礎について、三回に分けて平日の夜六時三〇分から八時三〇分まで、本所会議室で座学を行い、間伐の基礎については休日、朝から夕方まで座学を行い、伐採作業については休日、実技研修を二日間行いました。

まったくの初心者から、農作業でチェーンソーを使ったことのある人など、レベルは様々でしたが、最終日には実際に立木を伐採できるまでになりました。



間伐基礎の座学



伐採実技でソーチェーンの目立指導



セカンドハウスとしてご利用いただけます。



壁面に組み込まれた断熱材、天井、床にも組み込まれています。

新製品 間伐材キャビン

◆断熱仕様◆

主な仕様

建坪 3坪 (2.7m×3.6m)
 断熱材スタイロフォーム 25mm
 木製ドア W790 H2000
 断熱サッシ W1185 H1170
 (ペアガラス使用)
 明かり取り窓
 (ペアガラス使用)
 カラー鉄板一文字葺き
 水切りカラー鉄板取付け

販売価格

987,000円(税込)

(基礎工事は別途)

前回は間伐材を使用した間伐材キャビンを紹介しましたが、今回は更に進化して、床、壁、天井の全ての面に断熱材(スタイロフォーム)を入れ、窓を全てペアガラス仕様にした断熱仕様の新製品を紹介します。
 これまででは倉庫をベースとしていましたが、今回の製品は人が居住できる建物を目指して開発しました。

人事異動

退職(二月三〇日付)

総務課野沢温泉支所担当

パート職員 河野明美

異動(二月一日付)

総務課野沢温泉支所担当

パート職員 関口和子

(業務課利用事業室担当)

新規採用(十二月一日付)

業務課利用事業室

パート職員 山口小百合



仕上がりでは全てスギの無垢板で覆われています。

本所・中野支所	〒383-0061 中野市大字壁田 938 番地 1 TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350
利用事業室・飯山支所	〒389-2255 飯山市大字静間 383 番地 14 TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111
山ノ内支所	〒381-0405 山ノ内町大字夜間瀬 6819-1 TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678
木島平支所	〒389-2302 木島平村大字往郷 973-1 TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123
野沢温泉支所	〒389-2592 野沢温泉村大字豊郷 9817 TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803
豊田事業所	〒389-2192 中野市大字豊津 2508 TEL 0269-38-3111 FAX 0269-38-2774
ねんりん	〒389-2613 野沢温泉村大字虫生 2383-1 TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441
直売所(冬期閉店)	TEL 0269-85-4141 FAX 0269-85-4141

編集後記

間伐材のPRに、いろいろと取組んでおります。昨年12月にイオン中野店前バス停に、間伐材で作った屋根付きベンチを、待合所としてPR用に設置しました。大勢の方に見ていただいて、間伐材への関心が深まればと考えております。
 この屋根付きベンチは、間口2.7m、奥行1.5mで、豊田中学前の物より大きな物です。
 販売価格は240,000円(消費税込)で、基礎工事は別途見積となります。本所までご相談ください。